

2009年3月期
 (平成21年3月期) 第1四半期決算短信〔米国SEC基準〕



2008年8月5日

上場会社名 コナミ株式会社
 コード番号 9766
 URL <http://www.konami.co.jp>

上場取引所 東京証券取引所
 ニューヨーク証券取引所
 ロンドン証券取引所
 シンガポール証券取引所

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上月 景正
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山口 憲明
 四半期報告書提出予定日 2008年8月14日

TEL (03) 5771-0222

(百万円未満四捨五入)

1. 2009年3月期第1四半期の連結業績 (2008年4月1日～2008年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高及び営業収入		営業利益		税引前四半期純利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2009年3月期第1四半期	70,805	16.7	11,611	65.6	11,718	61.2	5,664	46.6
2008年3月期第1四半期	60,650	5.2	7,010	16.8	7,271	25.3	3,863	82.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2009年3月期第1四半期	41.23	41.18
2008年3月期第1四半期	28.14	28.13

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
2009年3月期第1四半期	339,519	186,902	55.0	1,359.83
2008年3月期	319,248	182,759	57.2	1,330.88

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2008年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2009年3月期	—	—	—	—	54.00
2009年3月期(予想)	—	27.00	—	27.00	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 2009年3月期の連結業績予想 (2008年4月1日～2009年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高及び 営業収入		営業利益		税引前 当期純利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間 通 期	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	330,000	11.0	45,000	33.0	44,500	35.5	26,000	41.7	189.34

(注) 1. 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

2. 当社は、第2四半期連結累計期間の業績予想を開示しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更： 有
 - ② ①以外の変更： 無
- （注）詳細は7ページをご覧ください。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2009年3月期第1四半期	143,500,000株	2008年3月期	143,500,000株
---------------	--------------	----------	--------------
 - ② 期末自己株式数

2009年3月期第1四半期	6,055,241株	2008年3月期	6,178,443株
---------------	------------	----------	------------
 - ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）

2009年3月期第1四半期	137,368,791株	2008年3月期第1四半期	137,259,918株
---------------	--------------	---------------	--------------

※上記の予測には、本資料の発表日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれております。世界経済、競争状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、6ページをご参照願います。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 当第1四半期連結会計期間の概況

当社グループに関連する娯楽産業（エンタテインメント）におきましては、家庭用ゲームソフト市場では、据置型ゲーム機及び携帯型ゲーム機が普及し、それぞれのゲーム機の特徴を活かしたタイトルが発売されたことにより、特に、北米・欧州を中心とした海外市場の拡大が進み、活況を呈しております。

健康産業におきましては、国家レベルでの生活習慣病予防対策として、2008年4月から「特定健診・保健指導」が義務化されたことにより、メタボリック症候群対策等、健康維持・増進に対する需要と関心の高まりが今後も期待されます。

このような状況のもと、デジタルエンタテインメント事業におきましては、2008年6月に待望のプレイステーション3向け「METAL GEAR SOLID 4 GUNS OF THE PATRIOTS」を全世界で同時発売し、順調な売上を記録いたしました。また、アミューズメント施設向け商品及びカードゲーム商品の販売も順調に推移し、市場で好評を博しました。

健康サービス事業におきましては、直営施設の新規出店及び受託施設の拡大とともに、「健康管理のIT化」と「プログラムの充実」を推進し、メタボリック症候群対策をはじめ、施設の特徴を活かしたサービスの拡充に努めました。

ゲーミング&システム事業におきましては、北米市場を中心にシェア拡大を図り、「K2V」シリーズ、「Advantage 5」等スロットマシンの販売を強化いたしました。また、「コナミ・カジノ・マネジメント・システム」やパーティシペーション（プロフィットシェア形式の機器販売方法）による販売も順調に推移したことにより、収益構造の安定化が進んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は708億5百万円（前年同期比16.7%増）となり、営業利益は116億1千1百万円（前年同期比65.6%増）、税引前四半期純利益は117億1千8百万円（前年同期比61.2%増）、四半期純利益は56億6千4百万円（前年同期比46.6%増）となりました。

(2) 事業の種類別セグメントの業績

事業別売上高及び営業収入（セグメント間含む）要約版

	前第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)	当第1四半期 (自 2008年4月1日 至 2008年6月30日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
デジタルエンタテインメント事業	34,875	44,850	28.6
健康サービス事業	21,617	22,174	2.6
ゲーミング&システム事業	3,572	3,673	2.8
その他の事業又は全社・消去	586	108	△81.6
連結合計	60,650	70,805	16.7

(デジタルエンタテインメント事業)

ゲームソフトでは、2008年6月12日にプレイステーション3向け「METAL GEAR SOLID 4 GUNS OF THE PATRIOTS」を全世界で同時発売いたしました。プレイステーション3向けソフトとしては初めてブルーレイディスク容量を使い切った圧倒的なボリュームで、発売前から第11回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門の優秀賞を受賞する等盛り上がりを見せており、「メタルギアソリッド」の圧倒的なブランド力を如何なく発揮し、発売日での全世界出荷本数は300万本を突破し、その後も順調に推移しております。

国内では「実況パワフルプロ野球ポータブル3」や「プロ野球スピリッツ5」が堅調に推移いたしました。また、

海外においては、北米で前期に発売した音楽ゲーム「DanceDanceRevolution Hottest Party」、「KARAOKE REVOLUTION American Idol ENCORE」が引き続き好評を博し、欧州でも、前期に発売した「PRO EVOLUTION SOCCER 2008」が根強い人気を維持し、いずれも堅調に推移いたしました。

業務用ビデオゲームでは、全国のアミューズメント施設をネットワークで結ぶ“e-AMUSEMENT”サービスを活用した、競走馬を調教しプレイヤーがジョッキーに扮してレースに出走する新感覚カード競馬シミュレーションゲーム「HORSERIDERS」や、アクション映画をインタラクティブに体感でき、映画のヒーローになりきれぬ新ジャンルマルチ体感アクションゲーム「アクション刑事(デカ)」が好調な売上を記録いたしました。その他には、定番シリーズタイトルの「麻雀格闘倶楽部6」、「WORLD SOCCER Winning Eleven ARCADE CHAMPIONSHIP 2008」や、業務用メダルゲームでは、中型プッシャー機「SPINFEVER」が引き続き堅調に推移いたしました。

また、カードゲームでは、「遊戯王トレーディングカードゲーム」シリーズが、国内を中心に好調な売上を記録いたしました。

以上の結果、当事業における当第1四半期連結会計期間の売上高は448億5千万円(前年同期比28.6%増)となりました。

(健康サービス事業)

スポーツクラブ業界においては、健康意識が高まる中高年層の会員数が増加する一方、これまで業界で主力であった若年層の減少や出店加速による競争激化により、施設当たりの会員数が減少傾向にあります。そのような中で当社グループのスポーツクラブ施設運営では、直営施設の新規出店や受託施設の拡大等を通じ、高品質な施設サービスの提供に努めました。

直営施設運営事業においては、2008年4月に新長田(兵庫県)、6月に武蔵小杉(神奈川県)、今里(大阪府)に施設をオープンいたしました。新長田では水の抵抗を利用した各種プログラムを展開しやすい7コースの広い25メートルプール、今里ではコナミスポーツクラブで初めて歩行専用プールを備える等、それぞれの施設の特徴を活かしたサービスを提供しております。また、昨今関心が高まっているメタボリック症候群への対策にも万全を期し、「健康管理のIT化」と「プログラムの充実」を推進しております。なかでも、個人の運動履歴や健康増進のためのデータを管理するIT健康管理システム「e-エグザス」の導入拡大、生活習慣病対策「6WEEKS」、ダイエットプログラム「バイオメトリクス」等の各種プログラムの推進に取り組んでおります。なお、今年3月にグループ入りしたスポーツプレックス・ジャパン株式会社(以下「SPJ」)は、2008年6月30日付で株式会社コナミスポーツ&ライフに吸収合併いたしました。今後も旧SPJ施設において高品質で幅広い当社グループのサービス拡充を進め、施設の価値を高めてまいります。

受託施設運営事業におきましては、戸塚スポーツセンター(埼玉県)や九条スポーツセンター(奈良県)を始めとする4施設を加え、公共施設等の運営に当社グループのノウハウや実績を役立て、地域社会の皆様の健康増進を推進いたしました。以上の結果、2008年6月末現在の当社グループの運営施設数は、直営施設と受託施設を合わせて全国337施設となりました。

健康商品事業では、多様化する健康ニーズに合わせた商品展開を積極的に進めております。2008年6月に開催された「ヘルス&フィットネスジャパン2008」に出展し、運動・福祉そしてメタボリック対策まで健康に関するあらゆる商品を紹介しました。その中でも、人気のフィットネスマシン「フォーストレップ」シリーズの第2弾で、気になるウエスト周りを効果的に刺激できる「フォーストレップ ウエストシェイパー」を初出展し注目を集めました。

また、当社グループの水泳競技部と体操競技部から3名が北京オリンピック日本代表に選ばれました。日頃の練習の成果をあますことなく発揮できるよう、日本代表の誇りを胸に引き続き精進してまいります。

以上の結果、当事業における当第1四半期連結会計期間の売上高は221億7千4百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

(ゲーミング&システム事業)

ゲーミング&システム事業では、北米市場において、人気商品投入や販売の強化により市場シェア拡大を図り安定した収益を確保しております。今期も引き続き「K2V」シリーズのスロットマシンや当社グループ初の5リールのメカニカルスロットマシン「Advantage 5」が好評を博しており、保守サービスによる安定的な収益が確保できる「コナミ・カジノ・マネジメント・システム」やパーティシペーションによる販売も順調に推移しております。

一方、豪州市場では、主要州における設置台数制限、税制改正及び禁煙規制等の影響により需要が減少し、当社グループのスロットマシンの販売に影響しております。今後は、市場シェア獲得のため、既存顧客に対するサービス向上を図るとともに、5リールメカニカルスロットマシンの豪州市場投入を進めてまいります。

2008年4月にカルフォルニア州サンディエゴで開催された北米部族ゲーミングオペレーターが集う「NIGA Convention & Trade Show」において、北米で主流のメカニカルリールスロットマシンや「コナミ・カジノ・マネジメント・システム」が注目を集めました。また、6月にマカオで開催された「Global Gaming Expo Asia」において、Konami Australia Pty LtdとKonami Gaming Inc.が共同出展し、「Advantage 5」やビデオリールスロットマシン、リンクプログレッシブマシン「ミスティカル・テンプル」をはじめとするゲーミングマシンとともに「コナミ・カジノ・マネジメント・システム」を出展し、幅広い商品ラインナップを披露し好評を博しました。

今後は、各市場に対応したグローバルな開発、生産体制の構築を推進するとともに、他社との戦略的提携等を視野に入れ事業の拡大を図ってまいります。

以上の結果、当事業における当第1四半期連結会計期間の売上高は36億7千3百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の概況

	前第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)	当第1四半期 (自 2008年4月1日 至 2008年6月30日)	増減
区 分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	489	4,810	4,321
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,778	△1,027	5,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,277	△4,099	178
為替変動の現金及び現金同等物に対する影響額	1,204	1,129	△75
現金及び現金同等物の純増減(△)額	△9,362	813	10,175
現金及び現金同等物の期末残高	47,971	52,943	4,972

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比較して8億1千3百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には52億9千4百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

また、当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローは、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において営業活動により獲得した資金は、48億1千万円（前年同期比883.6%増）となりました。

これは主として、棚卸資産の増加や売上債権に係る資金収支の減少があった一方で、四半期純利益や前受収益の増加があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において投資活動により使用した資金は、10億2千7百万円（前年同期比84.8%減）となりました。

これは主として、設備投資等のために資本的支出を行ったほか、有形固定資産を売却したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において財務活動により使用した資金は、40億9千9百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

これは主として、自己株式の取得や配当金の支払による支出があったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通し

(デジタルエンタテインメント事業)

デジタルエンタテインメントでは、成熟化している国内に比較して、近年高い市場伸長率を示している欧米のゲームソフト市場に注力してまいります。特に国内外で高い評価を得ているサッカーゲーム「ウイニングイレブン」（海外名「PRO EVOLUTION SOCCER」）シリーズを引き続き全世界でマルチプラットフォーム展開いたします。さらに、北米では「MLB Power Pros」シリーズをマルチプラットフォーム展開するとともに、根強い人気を維持する音楽ゲームに注力し「DanceDanceRevolution」シリーズに加え、「Rock Revolution」も新展開してまいります。また、「METAL GEAR SOLID 4 GUNS OF THE PATRIOTS」の本編ディスクに収録されているスターターパックでプレイすることができる「METAL GEAR ONLINE」や韓国で今年度中に配信開始予定のダンジョン探検型RPG「Chaotic Eden」をはじめとして、オンライン配信タイトルのラインナップを充実してまいります。さらに、ネットワーク機能が標準装備されているゲーム機に向けて、ダウンロード販売にも積極的に対応し、新規タイトルやコナミのオリジナルコンテンツを投入してまいります。

業務用ビデオゲームでは、「e-AMUSEMENT” サービスを利用した商品ラインナップのさらなる拡充を図ります。音楽に合わせて画面をタッチする新スタイルのリズムアクションゲーム「jubeat」や、「麻雀格闘倶楽部」、「BASEBALL HEROES」等、定番シリーズを発売していく予定であります。

カードゲームでは、「遊戯王トレーディングカードゲーム」シリーズを引き続きワールドワイドに展開してまいります。

また、人気コンテンツについては、ゲームソフトや業務用ビデオゲーム、カードゲームに留まらず、多面展開しながら、高いシナジーを追求してまいります。

(健康サービス事業)

当社グループでは「運動する」、「癒す」、「食べる」をテーマとして、運動指導と栄養指導を両立させた健康プログラムの開発と提供、効果的で実用性の高い健康関連機器の開発等に取り組んでおり、あらゆる健康サービスの可能性に挑戦してまいります。また、当社グループの株式会社コナミスポーツ&ライフは、300を超える国内最大規模のスポーツクラブの施設運営事業会社であると同時に、フィットネスマシンやサプリメント等を自社企画・製造する事業を持つメーカーでもあります。機器や商品の効果を自らのスポーツクラブで検証し、そのマーケティング結果を次の新規開発に反映させられる特性を最大限に活用して、健康サービス事業を推進していくことが基本戦略であります。

市場環境は、健康意識が高まる中高年層の会員数が増加する一方で、若年層の減少・競争激化の傾向が続き、施設当たりの会員数は減少するものと考えられます。しかし、高齢化社会の到来と国家レベルでの生活習慣病対策としての特定保健指導導入等を背景に、スポーツクラブ運営や健康機器開発・販売等の機会が広がっていくと思われ、施設運営を通じて得られた実績に基づく健康増進プログラムの提供や実用性の高い健康関連機器の開発等、多様化するニーズへ対応してまいります。

(ゲーミング&システム事業)

北米で主流のメカニカルリールスロットマシンの販売では、引き続き好評の5リールのメカニカルスロットマシン「Advantage 5」を中心とした展開、豪州で人気のビデオスロットマシンの拡販及び「コナミ・カジノ・マネジメント・システム」の新規販売を推進してまいります。また、パーティシペーションやカジノマネジメントシステムの保守サービス等による定期収入を増加させ、経営の安定化を図ります。

また、米国・豪州・日本の3拠点を活かした商品研究・開発を行ない連携を強化することで、経営の効率化を推進し、社会の変化や需要に対応した新商品開発や既存商品の付加価値向上を図ります。なかでも、スロットマシン単体の開発からカジノマネジメントシステムとの連動によりカジノ経営を効率化・能動化させるネットワーク型の商品開発・導入を推進し、既に導入されている北米に加え、豪州市場へも「コナミ・カジノ・マネジメント・システム」の市場投入を進めます。これにより、市場拡大の続く北米を中心に、各市場での販売拡大を目指してまいります。

当期の通期連結業績につきましては、売上高及び営業収入3,300億円、営業利益450億円、税引前当期利益445億円、当期純利益260億円と予想しており、2008年5月15日付「2008年3月期 決算短信」において公表いたしました業績予想から変更ございません。

なお、第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、当社の事業はヒットビジネスであり、機動的に商品投入を行っていく必要があることから、期中を通じ売上の変動があるため、開示しておりません。

四半期の業績開示につきましては、今後も一層の充実を図ってまいります。

注意事項

本短信の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しにのみ全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、対ドル、対ユーロをはじめとする円の為替レート等が含まれます。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更

2008年4月1日より、米国財務会計基準書（以下「SFAS」）第157号「公正価値の測定」を適用しております。SFAS第157号は、公正価値を定義し、公正価値の測定に関する枠組みを構築するとともに、公正価値の測定に関する開示について規定しております。SFAS第157号の適用による当社及び子会社の財政状態及び経営成績に対する重要な影響はありません。

② ①以外の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前第1四半期 (2007年6月30日)		当第1四半期 (2008年6月30日)		前連結会計年度 (2008年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1. 現金及び現金同等物	47,971		52,943		52,130	
2. 受取手形及び売掛金(貸倒引当金 控除後)－2007年6月30日、2008 年6月30日及び2008年3月31日現 在の貸倒引当金はそれぞれ537百 万円、265百万円及び260百万円	25,921		41,773		33,802	
3. 棚卸資産	30,860		34,742		24,374	
4. 繰延税金資産	13,714		19,326		18,275	
5. 前払費用及びその他の流動資産	13,984		12,519		11,498	
流動資産合計	132,450	43.2	161,303	47.5	140,079	43.9
II 有形固定資産	57,990	18.9	66,368	19.5	66,690	20.9
III 投資及びその他の資産						
1. 市場性のある有価証券	660		598		659	
2. 関連会社に対する投資	6,322		6,386		6,414	
3. 識別可能な無形固定資産	38,456		38,147		38,161	
4. 営業権	22,710		21,965		21,935	
5. 差入保証金	28,358		28,425		28,205	
6. 繰延税金資産	2,829		2,970		2,687	
7. その他の資産	16,760		13,357		14,418	
投資及びその他の資産合計	116,095	37.9	111,848	33.0	112,479	35.2
資産合計	306,535	100.0	339,519	100.0	319,248	100.0

区分	前第1四半期 (2007年6月30日)		当第1四半期 (2008年6月30日)		前連結会計年度 (2008年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 1年内返済予定の長期借入債務及び キャピタル・リース債務	22,984		8,061		8,115	
2. 支払手形及び買掛金	18,877		24,945		20,410	
3. 未払税金	826		5,072		9,523	
4. 未払費用	22,759		19,105		21,934	
5. 前受収益	6,322		20,907		7,848	
6. その他の流動負債	10,858		11,750		7,283	
流動負債合計	82,626	26.9	89,840	26.5	75,113	23.5
II 固定負債						
1. 長期借入債務及びキャピタル・ リース債務(1年内返済予定分を 除く)	23,707		35,706		35,613	
2. 未払退職・年金費用	1,365		2,694		2,699	
3. 繰延税金負債	12,304		11,718		11,559	
4. その他の固定負債	6,942		8,098		7,181	
固定負債合計	44,318	14.5	58,216	17.1	57,052	17.9
負債合計	126,944	41.4	148,056	43.6	132,165	41.4
(少数株主持分)						
少数株主持分	3,138	1.0	4,561	1.4	4,324	1.4
(契約債務及び偶発債務)						
契約債務及び偶発債務						
(資本の部)						
I 資本金	47,399	15.5	47,399	13.9	47,399	14.8
普通株式－無額面：授権株式数 450,000,000株、発行済株式数 2007年6月30日現在 143,555,786株 2008年6月30日及び2008年3月31 日現在 143,500,000株						
II 資本剰余金	77,227	25.2	77,084	22.7	77,078	24.1
III 利益準備金	284	0.1	284	0.1	284	0.1
IV 利益剰余金	62,717	20.5	75,449	22.2	73,492	23.0
V その他の包括利益累計額	7,195	2.3	4,444	1.3	2,579	0.8
VI 自己株式－取得原価 2007年6月30日現在 6,285,738株 2008年6月30日現在 6,055,241株 2008年3月31日現在 6,178,443株	△18,369	△6.0	△17,758	△5.2	△18,073	△5.6
資本合計	176,453	57.6	186,902	55.0	182,759	57.2
負債、少数株主持分及び資本合計	306,535	100.0	339,519	100.0	319,248	100.0

(2) 四半期連結損益計算書

区分	前第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)		当第1四半期 (自 2008年4月1日 至 2008年6月30日)		前連結会計年度 (自 2007年4月1日 至 2008年3月31日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高及び営業収入						
1. 製品売上高	40,782		50,407		218,306	
2. サービス収入	19,868		20,398		79,096	
売上高及び営業収入合計	60,650	100.0	70,805	100.0	297,402	100.0
II 営業費用						
1. 製品売上原価	21,372		25,215		131,890	
2. サービス原価	18,707		19,626		73,298	
3. 販売費及び一般管理費	13,561		14,353		58,375	
営業費用合計	53,640	88.4	59,194	83.6	263,563	88.6
営業利益	7,010	11.6	11,611	16.4	33,839	11.4
III その他の収益(費用)						
1. 受取利息	266		197		894	
2. 支払利息	△243		△399		△1,105	
3. その他－純額	238		309		△794	
その他の収益(費用)－純額	261	0.4	107	0.1	△1,005	△0.4
税引前四半期(当期)純利益	7,271	12.0	11,718	16.5	32,834	11.0
IV 法人税等	3,117	5.1	5,791	8.1	13,080	4.4
少数株主利益及び持分法投資利益 調整前四半期(当期)純利益	4,154	6.9	5,927	8.4	19,754	6.6
V 少数株主利益	438	0.7	292	0.4	1,589	0.5
VI 持分法投資利益－純額	147	0.2	29	0.0	180	0.1
四半期(当期)純利益	3,863	6.4	5,664	8.0	18,345	6.2

(1 株当たり情報)

区分	前第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)	当第1四半期 (自 2008年4月1日 至 2008年6月30日)	前連結会計年度 (自 2007年4月1日 至 2008年3月31日)
1株当たり四半期(当期)純利益	28.14円	41.23円	133.63円
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	28.13円	41.18円	133.57円
加重平均発行済株式数	137,259,918株	137,368,791株	137,290,259株
潜在株式調整後発行済株式数	137,298,107株	137,560,824株	137,344,709株

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)	当第1四半期 (自 2008年4月1日 至 2008年6月30日)	前連結会計年度 (自 2007年4月1日 至 2008年3月31日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー			
四半期(当期)純利益	3,863	5,664	18,345
営業活動によるキャッシュ・フ ローへの調整項目			
減価償却費	3,037	2,950	12,069
貸倒引当金の純増減(△)	△34	0	△248
持分法投資損益(△)	△147	△29	△180
少数株主損(△)益	438	292	1,589
繰延税額	1,055	△1,139	△3,225
資産及び負債の増減			
受取手形及び売掛金の 純増(△)減	4,929	△7,039	△7,483
棚卸資産の純増(△)減	△6,524	△10,020	△2,117
未収入金の純増(△)減	1,127	1,267	902
前払費用の純増(△)減	△506	△1,706	747
支払手形及び買掛金の 純増減(△)	△6,404	3,908	△623
未払税金及び未収税金 の純増減(△)	△42	△6,038	6,845
未払費用の純増減(△)	△807	△2,175	827
前受収益の純増減(△)	659	13,058	2,192
前受金の純増減(△)	620	1,546	△427
預り金の純増減(△)	1,283	1,831	△850
その他－純額	△2,058	2,440	2,425
営業活動による キャッシュ・フロー	489	4,810	30,788

	前第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)	当第1四半期 (自 2008年4月1日 至 2008年6月30日)	前連結会計年度 (自 2007年4月1日 至 2008年3月31日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
II 投資活動による キャッシュ・フロー			
資本的支出	△3,093	△3,713	△11,995
有形固定資産の売却による収入	—	1,315	8
新規子会社の取得による収入 (支出)	—	—	△367
差入保証金の純増(△)減	△3,604	1,410	△2,627
その他—純額	△81	△39	△378
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,778	△1,027	△15,359
III 財務活動による キャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減(△)	—	—	△1,869
長期借入債務の返済による支出	△148	△148	△2,969
社債の発行による収入	—	—	15,000
社債の償還による支出	—	—	△20,000
キャピタル・リース債務の元本 返済による支出	△678	△682	△2,596
配当金の支払	△3,476	△3,560	△7,419
自己株式の取得による支出	△8	△94	△31
その他—純額	33	385	66
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,277	△4,099	△19,818
IV 為替変動の現金及び現金同等物に 対する影響額	1,204	1,129	△814
V 現金及び現金同等物の純増減(△) 額	△9,362	813	△5,203
VI 現金及び現金同等物の期首残高	57,333	52,130	57,333
VII 現金及び現金同等物の期末残高	47,971	52,943	52,130

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報

①事業別セグメント情報

前第1四半期(自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)

	デジタルエンタテインメント 事業 (百万円)	健康サービス 事業 (百万円)	ゲーミング&システム 事業 (百万円)	その他又は 全社・消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	34,748	21,513	3,572	817	60,650
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	127	104	—	△231	—
計	34,875	21,617	3,572	586	60,650
営業費用	26,574	19,833	3,177	4,056	53,640
営業損益	8,301	1,784	395	△3,470	7,010

当第1四半期(自 2008年4月1日 至 2008年6月30日)

	デジタルエンタテインメント 事業 (百万円)	健康サービス 事業 (百万円)	ゲーミング&システム 事業 (百万円)	その他又は 全社・消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	44,779	22,078	3,673	275	70,805
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	71	96	—	△167	—
計	44,850	22,174	3,673	108	70,805
営業費用	31,691	21,590	3,201	2,712	59,194
営業損益	13,159	584	472	△2,604	11,611

前連結会計年度(自 2007年4月1日 至 2008年3月31日)

	デジタルエンタテインメント 事業 (百万円)	健康サービス 事業 (百万円)	ゲーミング&システム 事業 (百万円)	その他又は 全社・消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	178,382	86,196	18,471	14,353	297,402
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	557	348	—	△905	—
計	178,939	86,544	18,471	13,448	297,402
営業費用	143,579	81,251	15,677	23,056	263,563
営業損益	35,360	5,293	2,794	△9,608	33,839

1. 各事業別セグメントにおける主な事業内容は、以下のとおりであります。
 - ①デジタルエンタテインメント事業 ゲームソフト、アミューズメント、カードゲーム、オンライン等のデジタルコンテンツ及びそれに関わる製品の制作、製造及び販売
 - ②健康サービス事業 スポーツクラブ施設運営、フィットネス機器及び健康関連商品の制作、製造及び販売
 - ③ゲーミング&システム事業 カジノ施設向けゲーミング機器及びカジノマネジメントシステムの開発、製造、販売及びサービス
2. その他の項目は、米国財務会計基準書 (SFAS) 第131号「企業のセグメント及び関連情報に関する開示」における量的基準を満たさない事業から構成されております。
3. 全社の項目は、主に本社費用から構成されております。
4. 消去の項目は、主にセグメント間取引高消去及び棚卸資産の未実現利益消去等から構成されております。

②所在地別セグメント情報

前第1四半期(自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	50,346	4,439	4,136	1,729	60,650	—	60,650
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,702	1,070	0	37	2,809	△2,809	—
計	52,048	5,509	4,136	1,766	63,459	△2,809	60,650
営業費用	45,443	5,575	3,866	1,552	56,436	△2,796	53,640
営業損益	6,605	△66	270	214	7,023	△13	7,010

当第1四半期(自 2008年4月1日 至 2008年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	56,345	7,865	5,264	1,331	70,805	—	70,805
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,831	857	3	120	4,811	△4,811	—
計	60,176	8,722	5,267	1,451	75,616	△4,811	70,805
営業費用	49,889	7,748	4,757	1,606	64,000	△4,806	59,194
営業損益	10,287	974	510	△155	11,616	△5	11,611

前連結会計年度(自 2007年4月1日 至 2008年3月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	220,462	34,137	35,589	7,214	297,402	—	297,402
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,147	4,802	44	658	26,651	△26,651	—
計	241,609	38,939	35,633	7,872	324,053	△26,651	297,402
営業費用	211,643	37,532	33,810	7,304	290,289	△26,726	263,563
営業損益	29,966	1,407	1,823	568	33,764	75	33,839

外部顧客に対する売上高については、製品が販売され、サービスが提供される場所に基づいてそれぞれの地域を決定しております。

北米は、主としてアメリカ合衆国から構成されております。

(注記)

この連結財務諸表は、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づいて作成しております。